



松浦宮物語総索引

菅根順之編

笠間索引叢刊 46

凡 例

- 1 この索引は松浦宮物語の語彙を検索するに資するとともに、国語研究の資料として、松浦宮物語を使用する場合にも利用できるように配慮しました。
- 2 この索引は萩谷朴先生訳注、『松浦宮物語』（角川文庫）の本文によりました。角川文庫本の本文の誤字、脱字等の箇所は萩谷先生にご協力を得て訂正しました。
- 3 頁数、行数は角川文庫本の本文のものです。なお各章段ごとの見出しは行数中に入れてありません。
- 4 見出し語としては単語、複合語、接頭語、接尾語のほかに結合度の比較的高い語句や重なって用いられている助詞を加えました。
- 5 複合語、接辞のついた語、連続する語は、そのままでも引けますし、また、それを構成する単位でもなるべく引けるようにしました。たとえば
『あかしくらす』は『あかし』でも、『くらす』でも引けます。
『御さまども』は『御』でも、『さま』でも『ども』でも引けます。
- 6 語の排列は、見出し語の五十音順により角川文庫本の本文の頁数と行数を示しました。たとえば
あかき 16-1, 40-10, 116-13
とあれば『あかき』という語は本文の16頁の1行目と40頁の10行目と116頁の13行目とにあるということです。
- 7 見出し語が同音の場合には、原則として次の順序に従って排列しました。
名詞 代名詞 感動詞 副詞 連体詞 接続詞 動詞 形容詞 助動詞
助詞 接頭語 句
- 8 活用語は原則として、終止形の項にまとめ、各活用形に従って分類したものを列挙しましたが紛らわしいものには、活用形を次の記号に従って示しました。

(未)=未然形 (用)=連用形 (止)=終止形

(体)=連体形 (已)=已然形 (命)=命令形

- 9 見出し語には原則として、品詞名等を省略しましたが、紛らわしいものには次の例のように〔 〕をもって記しました。たとえば

〔名〕とあれば名詞，〔完了〕とあれば完了の助動詞，〔謙讓〕とあれば謙讓の補助動詞という意味です。

- 10 萩谷先生が反町茂雄氏のご好意によって蜂須賀家旧蔵後光嚴院辰翰本を直接に調査して知り得た岩波文庫本の誤謬及び、角川文庫本初版の誤植をも含めて、再版の際には当然訂正せられるであろう本文箇所を、萩谷先生よりの指示によって予め訂正して用いたことをことわっておきます。

なお訂正箇所を、誤り→訂正で次に掲げました。

12-13 御こと→御こと

22-13 へだてで→へだてて

25-4 わたの→わたり

25-15 御気色→御気色しき

27-9 おろそかなるや→おろそかなる屋

38-2 かなふまじ→かふまじ

43-6 おしいでて→おしいでて

43-13 おほしなげく→おほしなげく

44-3 燕王→燕王えん

46-6 ゆきかかりて→ゆきかくりて

48-12 虎→虎こ

56-14 ととひ→ととひ

60-9 かくみしり→かがみしり

61-7 都門→都門みや

67-14 かくみしり→かがみしり

75-1 いれど→いれれど

77-5 しもや→しも屋

- 79-13 冠^{カウブ}→冠^{カウブ}
80-8 なにのむくひにかか^ルる→なにのむくひにかか^ルる
97-3 鄧^{トウ}→鄧^{トウ}
100-2 夢^{ユメ}→夢^{ユメ}
107-11 申し給^ルひき→申し給^ルひき
116-2 后^{コノ}の宮→后^{コノ}の宮

この索引を作製するに当り萩谷朴先生，東節夫先生のご示教と二松学舎大学助手大沼秀紀氏，同小林公雄氏，森澄子氏，山村幸子氏の協力を得たことを記して感謝する次第です。

松浦宮物語総索引

目 次

凡	例(1)			
あ..... 1	さ..... 45	な..... 76	ま.....104	ら.....122
い..... 6	し..... 49	に..... 82	み.....108	り.....123
う..... 12	す..... 52	ぬ..... 85	む.....111	る.....123
え..... 16	せ..... 56	ね..... 86	め.....113	れ.....124
お..... 17	そ..... 57	の..... 87	も.....114	ろ.....124
か..... 25	た..... 58	は..... 92	や.....117	わ.....124
き..... 33	ち..... 64	ひ..... 97	ゆ.....119	ゐ.....126
く..... 35	つ..... 65	ふ.....100	よ.....120	ゑ.....126
け..... 37	て..... 68	へ.....102		を.....126
こ..... 39	と..... 71	ほ.....103		
和 歌 索 引131			

監修者・編者紹介

菅根順之（すがねのぶゆき）

，千葉県勝浦市に生まれる。

昭和31年，二松学舎大学文学部国文学科卒業。

昭和35年，日本大学大学院文学研究科国文学専攻修士課程修了。

昭和43年，二松学舎大学講師，現在に至る。

主な論文：『一葉と兼好』（言語と文芸），『前田家本元輔集成立考』（二松学舎大学論集），その他。

まつらのみやものがたりそうさくいん
松浦宮物語総索引

●笠間索引叢刊 46

昭和49年9月20日初版発行

¥ 3,000

検印
省略

監修者 東 節 夫
◎編者 菅 根 順 之
発行者 池 田 猛 雄

発行所 有限会社 笠間書院
101 東京都千代田区神田神保町 1-46
電話03-294-0787・0996 振替東京56002